

平成 27年6月24日  
 東部農林振興センター 出雲事務所農業普及部

標 題 WCS用稲の現地講習会を開催

(ダイジェスト)

6月15日と23日、JAしまね出雲地区本部管内において、WCS用稲の現地講習会を4会場で開催し、生産者や関係者合わせて、約30名の出席がありました。講習会では、品質の向上を図るため、早生品種の生育状況を確認しながら、収穫前の水管理や、適期収穫について指導をしました。早生品種の収穫は7月25日頃から8月上旬になりそうです。

当地域では、「耕畜連携による夢とロマンのある『いずも型畜産』の確立プロジェクト」に取り組んでおり、WCS用稲の生産拡大と利用促進はプロジェクトの主要な目標となっています。平成27年産の作付面積は108ha（前年89ha）、畜産農家の利用希望も44戸と、その取組は順調な広がりを見せています。

しかし、一方品質のバラツキが問題となっており昨年に引き続き、今年も「WCS用稲



4箇所、約30名参加

の現地講習会」を開催しました。講習会は、当農業普及部の稲作担当者と畜産担当者が連携して、早生品種の収穫約1か月前となる15日に佐田、23日に平田、高浜、神西の計4会場で開催し、生産者や関係者合わせて約30名の参加がありました。講習会では、品質低下の主原因である作物体の水分をなるべく低く抑えるため、遅くとも収穫2週間前には圃場の水を落とすことや、排水の悪いところでは溝を掘ることを指導しました。また、品質管理に役立てるため、生産者毎に何時、どの圃場で収穫したロールか判るように番号を書いていただくようお願いしました。



幼穂の状況で収穫時期の推定

今年の早生品種「夢あおば」は、7月25日～8月上旬が収穫期となりそうです。

また、品質の安定化やWCSの利用促進を目的に、生産農家と利用農家、関係機関で「WCS生産・利用協議会」を近日中に立ち上げることであり、併せて12月には、協議会員を対象に出来上がったWCSの品質を確認する研修会を開催する予定としています。

担当者	出雲南地域振興課	藤野浩紀	TEL0853-30-5593
-----	----------	------	-----------------